

BULLETIN

THE

LIONS

TIMES

3

March  
2019



ライオンズクラブ国際協会  
335-C 地区機関紙  
No.561

〈今月の特集〉

年次大会の呼びかけ

OSEAL フォーラム

2018年度 冬期 YCEレポート

ガバナーテーマ

「すべてに感謝、楽しく We Serve!!」

アクティビティスローガン

「奉仕と友愛の輪で新たなる挑戦!」



<http://www.335-c.com/>

# District 335-C



335-C 地区ガバナー  
(草津LC)

南 英 三

1年の総括ともいえる、年次大会が早くもやってまいりました。年次大会は335-C地区の、メンバーが一堂に集い、その年の活動をかえりみて、次年度の活動がさらに進化・発展したものとなるようにつなげていく重要な大会です。

今年度の大会テーマは「感謝の心で奉仕する」です。私が、年度当初から皆さんに伝えてきた「感謝」と「楽しく」という気持ちをこの大会で感じていただきたいと思っております。今回は、私の出身地である滋賀県で開催させていただきます。式典に参加していただいたメンバーには、記念コンサートや、琵琶湖クルーズを楽しんでいただきます。また、晩餐会についても多くのメンバーが楽しめるよう趣向を凝らし、精一杯のおもてなしをいたします。どうか1年の活動に対する感謝の気持ちを感じて、楽しんでいただきたいと思います。

ライオンズメンバー皆様のご来場を心よりお待ちしております。

地区ガバナー 南 英三

2019/1/11 現在

## ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区 第 65 回年次大会 公式プログラム 大会テーマ「感謝の心で奉仕する」

開催日 2019年4月20日(土)  
開催場所 代議員総会 琵琶湖ホテル  
式典・記念コンサート 大津市民会館・びわ湖クルーズ  
晩餐会 琵琶湖ホテル

### 時間および会場

10:00-10:30	代議員登録	琵琶湖ホテル	3F
10:30-12:30	代議員総会	琵琶湖ホテル	3F「瑠璃」
13:00-13:30	式典受付	大津市民会館	
13:30-15:00	式典	大津市民会館	「大ホール」
15:30-16:30	記念コンサート	大津市民会館	「大ホール」
17:00-17:30	びわ湖クルーズ		
18:00-20:00	晩餐会	琵琶湖ホテル	3F「瑠璃」

- 大会事務局.....琵琶湖ホテル3F「ホワイト」・大津市民会館2F「リハーサル室」
- 開票所.....琵琶湖ホテル3F「グリーン」
- 代議員昼食会場.....琵琶湖ホテル3F「瑠璃」
- 来賓控室.....琵琶湖ホテル3F「グリーン」・大津市民会館2F「小ホール」
- 救護室.....琵琶湖ホテル3F「ホワイト」・大津市民会館1F「静養室」

■代議員の方にお願ひ ※代議員登録時間 10:00~10:30を必ずお守り下さい。  
※登録時間を過ぎると投票用紙を渡せませんのでご注意ください。  
※代議員総会終了後、13:10までに昼食をお済ませいただき、  
式典会場の大津市民会館へ移動をお願いいたします。

晩餐会 18:00-20:00 晩餐会 琵琶湖ホテル



# 第57回 OSEAL フォーラム報告

ライオンズクラブ国際協会主催、第57回 OSEAL フォーラムが2018年11月15日～18日の日程で中国・海南島にて開催されました。

16日、海南国際会議コンベンションセンターで地元メンバーの熱烈な歓迎の中、国際役員、各地区ガバナー、国際会長の順で入場が行われ開会式が始まりました。

同日19時から海口華彩華邑酒店に於いて、事前登録から二転三転と色々あつた中ではございましたが、C地区から27名と柿原335複合地区ガバナー協議会議長・堀口A地区ガバナー・吉村B地区ガバナーをお招きし30名の参加者が集い、335・C地区ガバナー晩餐会が開催されました。長谷川地区国際関係副委員長の司会により案浦地区国際関係副委員長の出席者紹介、中嶋地区国際関係委員長の開宴の挨拶で晩餐会がはじまりました。まず、南ガバナーより、今回、二転三転ありながらも27名ではありますが、C地区だけが晩餐会を開催できたことへの感謝の意と今後の活動の報告等をご挨拶頂き、続いて柿原335複合地区ガバナー協議会議長の発声による乾杯の後、美味しい本格的な中華料理を堪能させていただきました。堀口A地区ガバナー、吉村B地区ガバナーからもご挨拶を頂き、永田名誉顧問・元地区ガバナーのライオンズローア、最後に小鍛冶第一副地区ガバナーのお言葉で閉宴となりました。

翌17日の16時半からは海口マリオットホテルにて国際会長歓迎晩餐会が開催され当地区からは南ガバナーが参加致しました。

最終日の18日には海南国際会議コンベンションセンターにて閉会式が執り行われました。

ご参加いただきました皆様に、心より御礼を申し上げます。

地区キャビネット運営委員 前田忠憲











# レオクラブ研修会

2018年10月28日 京都ホテルオークラ

## 【今回のレオクラブ研修会の目的】

### ●レオクラブ研修会

レオクラブの歴史を知り、会員増強を図るため。

### ●和食マナー講座

和食マナーを学び、社会で恥をかかない立派な大人になるため。

### ●アイバンク講座

アイバンクの方から講話を聞き、具体的な社会奉仕を知り、自分たち個人ができる奉仕活動を理解するため。

## 【活動内容】

レオクラブ研修会では、Leo吉岡がレオクラブの歴史について講話しました。また講話の後は今後の活動についてグループワークを行い、参加メンバー全員で会員増強について色んなアイデアを出していき、レオクラブの将来を見つめなおす機会となりました。

その後、京都ホテルオークラの和食「入舟」の山田様から和食マナー講座を実施して頂きました。和食のマナーだけでなく、会席料理の楽しみ方や雑学を学びました。今まで日常的にお箸やお茶碗等を使ってごはんを食べていましたが、私たちの知らない作法がたくさん

あり、驚くことが多かったです。料理の味をただ楽しむのではなく、香りを楽しむことで季節を感じられ、和食の奥深さを感じました。また、和食のマナーは想像していた以上に決まりが多く、品のある日本の文化だと実感しました。レオクラブでは色々な活動しましたが大人になつたときに一番ためになることを学べて大変有意義な時間でした。

最後に、アイバンク講習を京都府立医科大学アイバンク組織バンクコーディネーター石垣様より講話を受けました。アイバンク講習では前半に短編ドラマを見ました。後半は隣の人とアイバンクについて意見交換や質問をしあうことで、アイバンクの身近に感じる疑問を解決し、更なる知識を深めることができました。もしも、私が亡くなって角膜移植の許可をしていますが、私の身内の人が必ずしも許可してくれるとは限りません。移植に関してしっかりと知識を持つておくこと、家族に意思表示しておくことが重要であると思いました。

レオ335-C地区 会長 西村宗生





# 国際平和ポスターコンテスト

## 滋賀展示会

自由と平和を愛し文化を進める11月3日文化の日、じばンティ彦根にて第31回国際平和ポスターコンテスト滋賀展示会が開催されました。

地区M.C. I-T委員長し町田浩の開会宣言を開店と同時に、地区ガバナーし南英三より挨拶を賜り、引き続き第2副地区ガバナーし松岡勲、6RRリジョン、チェアパーソンし竹之内寛、6RR2ゾーン・チェアパーソンし吉川喜彦、7R1ゾーン・チェアパーソンし中原憲治、7R2ゾーン・チェアパーソンし伏木与司夫に加わって頂きテープカットを行いました。

会場には、応募総数16,248点の中から選ばれた入賞作品50点と6R、7Rのクラブから選出された作品92点及びこれまでの最優秀作品数点、合わせて1500点近くのポスター展示となりました。

祝日もであり、また大型ショッピングセンターの通路を利用しての設営という事で、出展者の家族だけでなく、一般の方も多数入場くださり、16時の閉会まで切れ目なく会場は賑わいました。

子供たちに平和と、今回のテーマでもあるように「思いやりは大切なこと」を伝える「助」になり、そしてこの中から複合地区、国際協会に選ばれる事を期待しています。

地区M.C. I-T副委員長 井口和智



## 奈良展示会

2018年11月11日秋晴れの和歌山市商工会館(愛称まいどほーる)で奈良展示会を催しました。今回のポスターコンテストでは、16,248点の応募があり地区への提出作品は438点でした。世界の平和を祈り、今回の「思いやりは大切なこと」をテーマに11歳〜13歳までの子供達に描いていただきました。国際大賞に選ばれますと賞金US\$5,000と家族2名としてスポンサーの会長が、賞贈呈式に無料招待されます。

開会セレモニーでは、地区M.C. I-T委員長し町田浩が開会宣言、第2副地区ガバナーし小鍛冶正明のご挨拶を戴き、第2副地区ガバナーし松岡勲、名誉顧問元協議会長八嶋隆をはじめ沢山の地区役員の皆様のテープカット時には高らかなファンファーレで開会しました。

開会式には作品応募者のご家族も御参加戴いて、会場は一杯の人で賑わいました。最終的には100人を超える入場者数をカウントしました。奈良県各地からも参加いただき、家族連れが多くて、滞留時間も長く6時間の展示時間があつという間に過ぎた気がします。奈良会場では、地区入賞作品50点と8R地区提出作品82点の作品を展示いたしました。

地区M.C. I-T副委員長 鈴木利孝



## 京都展示会

2018年11月25日於京都日国デザイン博物館にて第31回国際平和ポスターコンテスト京都展示会が盛大に開催されました。

応募総数16,248点の中から最優秀作品地区ガバナー賞3点をはじめ、入賞作品を含む全438点を展示致しました。

ライオンズクラブ国際協会335C地区ガバナーし南英三の開会挨拶の後、地区役員の皆様にもご出席を賜りテープカットセレモニーを執り行いました。

子供達が平和を願い二所懸命に描いた力作を、沢山の方々にご鑑賞頂ける展示会となりました。

ライオンズクラブ国際協会335C地区M.C. I-T委員長と致しましては、今後も国際平和ポスターを沢山の皆様にご鑑賞頂く事によって、世界の平和について考える契機のひとつになる事を願っております。

地区M.C. I-T委員長 町田浩二







# GST(糖尿病) セミナー

2018年11月5日 リーガロイヤルホテル京都

2018年11月5日(月)リーガロイヤルホテル京都において、地区ガバナー南英三はじめ、地区役員ならびに地区内クラブより会長・幹事・担当委員長総勢104名の出席をいただきGST(糖尿病)セミナーが開催されました。

南ガバナーが今年度重点スローガンにされている「糖尿病予防啓発」を中心に「クラブにとってGSTは何ができる」をテーマに企画しました。

地区GST・アラート副委員長原田満義による司会の元、地区GST・アラート委員長松田太蔵の開会挨拶に続き、講師ならびに出席者紹介の後、地区ガバナー南英三が糖尿病予防の重要性、GSTの役割を話されました。その後、地区GSTコーディネーター河原善雄の趣旨説明があり、セミナーが開始されました。

「糖尿病発症・合併症予防を目指した血糖コントロール」を議題とし、京都府立医科大学・糖尿病治療学講座講師牛込恵美様にご講演いただきました。

一般的には空腹時の血糖値測定によって、糖尿病の判断をされていますが、牛込先生は食後30分の血糖値を重要視されているとの事でした。患者さんの治療経験をもとに、予防方法や血糖コントロールをお話いただきました。質疑応答では活発な質

問があり、有意義なご講演でした。

続きまして、GSTの五大フレームワークを中心に335複合地区コーディネーター団英男(335-A地区元地区ガバナー・名誉顧問神戸みなとLC)が小児がん、ライフジャケット、子ども食堂、スペシャルオリンピックス支援等、アイスブレイク(頭の体操)を取り入れながら、出席者の笑いを誘い、楽しくご講演いただきました。

続いて、地区キャビネット運営委員長白井幸則より、2019年1月30日に開催されるプロバスケットボールに冠スポンサーになり、糖尿病予防の啓蒙、啓発活動事業についての説明とご支援、ご協力をお願いがありました。

終わりに、地区GST・アラート副委員長長正木昌二が閉会の挨拶し、定刻17時に閉会しました。

地区GST・アラート委員長 松田太蔵





# 高校生と考える薬物乱用防止シンポジウム in 京都

(平成30年度きょうと薬物乱用防止行動府民会議総会)

2018年11月11日 京都外国語大学森田記念講堂

2018年11月11日(日) 京都外国語大学森田記念講堂にて開催されました。

ライオンズクラブより第2副地区ガバナー 松岡勲、名誉顧問・元協議会議長 神崎守、1R~4R内地区役員、各クラブより50名の皆様にご参加いただきました。

薬物は、日本全国、そして京都府下でも近年未成年の心と身体を蝕んでいるとの報告を、私をはじめ高校生、大学生の皆さんも大きなショックを受けました。

薬物が若者のファッションの様に身近にあると認識し、誤った価値観を払拭しなければと強く考えます。

一人の大人として若者の人生にひとかけらの薬物も近づけてはなりません。

これから素晴らしい人生が待っている若者のため、一人でも多くの方がこのシンポジウムに参加していただき、薬物予防啓発活動を推進していただければと思います。

今年度も多数の高校生に参加していただき、ヘルスプロモーション推進センター 岩室紳也医師による基調講演をはじめ、違法薬物に係る高校生アンケート結果説明、ラジオ公開収録など素晴らしい大変意味のあるシンポジウムでした。

地区青少年育成副委員長 吉永達哉



# 第2回キャビネット会議

2018年11月27日 リーガロイヤルホテル京都



公式訪問も11月7日、南地区ガバナーのホームゾーン6R2Zの合同例会をもつて完了しました。この間、地区内各クラブの会長、ゾーン・チェアパーソンから現状報告と、地区ガバナーの5大目標実現に向けた、力強い意志をお示し頂き、地区ガバナーも、大いに期待を持って意を強くされたことと思います。

さて、各地では、紅葉狩りで賑わう錦秋のなか、11月27日に、第2回キャビネット会議が、リーガロイヤルホテル京都にて開催されました。

地区キャビネット幹事し梅山克啓の司会進行により、地区ガバナーし南英三による開会コングが会場の朱雀の間に鳴り響き、定足数確認、出席者紹介の後、南地区ガバナーより開会の挨拶がなされました。

中国・海南島で、開催されたOSEALフォーラムに、335・C地区から、多数の出席を頂けたこと、担当委員会および会員の皆さんに、厚く御礼申し上げるとの言葉を頂きました。

続いて、前地区ガバナーし後藤典生より、今年度の地区運営が順調に推移していることを喜ばしく思っているが、今後もより一層の努力を重ねて、目標達成に向けて邁進してほしいとの激励のお言葉を頂きました。

この後、前年度、国際会長しナレシユ・アガワルより、前地区ガバナーし後藤典生へ感謝状とメダルの贈呈があり、出席者一同から大きな拍手で、感謝とお祝いの気持ちで伝達されました。

地区キャビネット運営委員長し白井幸則が、配付資料の確認をし、南地区ガバナーが議長席に着かれ、署名人には、し松村一男、し吉川喜彦の両ゾーン・チェアパーソンを選出し、会議が始まりました。

報告事項として、第65回地区年次大会の件、糖尿病予防キャンペーンの件、第2回335複合地区ガバナー協議会会議の件などについて、報告がありました。

審議事項として、前年度、地区決算報告書、監査報告並びに引継ぎ書類について、前地区会計し小西秀樹、前地区監査委員し森瀬正博からなされました。

次に次年度、地区ガバナー候補者としてし小鍛冶正明、第1副地区ガバナー候補者として、し松岡勲を推挙する件などが、いずれも満場一致で採択されました。

最後に閉会の挨拶が、第1副地区ガバナーし小鍛冶正明から会議の労をねぎらう言葉としC1Fへのさらなる協力依頼があり、閉会となりました。

地区キャビネット運営委員長 白井幸則



# ライオンズクラブ対象 薬物乱用防止教育認定講師養成講座

(薬物乱用防止に係わるクラブメンバー講師育成の講座会)

2018年12月4日 リーガロイヤルホテル京都

12月4日(火)リーガロイヤルホテル京都に於いて、ライオンズメンバー対象による標記講座が開催され、来賓、講師、ライオンズメンバー総勢50名のご参加を頂きクラブメンバーが薬物乱用防止の啓発活動の講師と成りえる育成講座が開かれました。

司会 地区青少年育成副委員長 杉垣新哉

開講式では来賓、講師様並びに地区役員のご紹介後、地区ガバナー(南英三)、続いて京都府健康福祉部薬務課課長 横田薫様よりご挨拶を頂き開講されました。

## I 基礎講座

①「ビオ講座」 「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止教育啓発DVD

「薬物乱用から自分を守る」(15分)

②「医学知識」 「薬物乱用と身体への影響」(30分)

医学博士 万本盛三(DVD)

## II 専門講座(ステップアップ講座として)

③「行政事情1」 「薬物犯罪対策について」をふり返して

講師 京都府警察本部 刑事部 組織犯罪対策第二課 警部 石田豊様

④「行政事情2」 「京都府の取組について」

講師 京都府健康福祉部 薬務課 薬物対策・企画担当 副主査 服部正幹様

⑤「行政事情3」 「教育現場の現状」

講師 京都翔英高等学校 副校長 足達靖彦様

(ライオンズクラブ国際協会335-C地区 名誉顧問・元地区ガバナー)

講座終了後、公益社団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター企画部長 加藤康樹様より感謝の辞を述べて頂きこの育成講座開催にあたり担当しました地区青少年育成委員長(今村絹世)より閉講の挨拶を述べ終了致しました。

追伸 尚、当クラブ(京都北LC)に於いても日を置かずして12月6日(木)の例会にて青少年薬物乱用防止啓発DVDを鑑賞し当養成講座開催をメンバー共々意義深く学ぶことができました。

地区青少年育成副委員長 藤井行雄





# 2018年度冬期 YCE派遣学生歓送会

2018年12月2日 リーガロイヤルホテル京都

12月2日の12時よりリーガロイヤルホテル京都において、2018年度冬期YCE派遣学生歓送会が行われました。

中村地区YCE・レオ副委員長の出席者の紹介の後、船越地区YCE・レオ委員長からYCE派遣学生、保護者及びスポンサークラブの方々にYCE事業の説明や方針を述べられた後、YCE派遣学生が今回のYCEの経験を生かしてさらなる活躍をされる事を期待し、帰国後はYCEのOBとしての協力もお願いされました。

その後、南地区ガバナーより挨拶がありYCE派遣学生には必ず三つのお土産を持って帰ってきて欲しい。それは品物ではなくて、皆さんの心に残る想い出として持ち帰り、無事に帰国して、それを是非我々に報告して欲しいと述べられました。その後、YCE派遣学生の紹介があり、YCE派遣学生には南地区ガバナーと船越地区YCE・レオ委員長よりそれぞれにプレゼントの贈呈があり、その後YCE派遣学生達と記念撮影を撮りました。

松岡第2副地区ガバナーの乾杯でランチタイムに入り、楽しく食事を取りながら和やかな中で、各々のYCE派遣学生のYCEに対しての意気込みを挨拶していただき、14時に池尾地区YCE・レオ副委員長の閉会の挨拶があり、最後に参加者全員の記念撮影をして、歓送会を無事に終了致しました。

YCE派遣学生には今度の海外での経験を糧に、より一層の精神的な成長をされる事を、そして元気に帰国されます事をYCE・レオ委員会メンバー一同、心より願っております。

地区YCE・レオ副委員長 下平晃寿



# 2018年度冬期 YCE来日学生歓迎会

2018年12月13日 京都ホテルオークラ

2018年12月13日、京都ホテルオークラに於いて「2018年度冬期YCE来日学生歓迎会」を開催いたしました。師走の慌ただし平日にも関わらず、来日学生の皆様とホストファミリー、ホストクラブの皆様、そして地区ガバナー、南英三をはじめとする地区役員、地区YCE・レオ委員会に出席していただき、計25名もの参加をいただきました。

今年度の冬期来日学生は、マレーシアよりテオさんとチヨンさん、オーストラリアよりキンバリーさん、東マレーシアよりエリカさんの4名を335・C地区で受け入れ致しました。

会食に先立ちまして、出席者の紹介、来日学生の紹介、そして南ガバナーと船越委員長より英語を交えたご挨拶とプレゼント贈呈式を執り行いました。来日学生の皆様に対しては、慣れない住環境の中ですが健康に留意しつつ思う存分この短期留学を楽しんでいただき、この貴重な経験を今後の人生に役立てて欲しい旨をお伝えになりました。そして、ホストファミリーとホストクラブの皆様には、来日学生の受け入れへの感謝の言葉が述べられました。

ディナータイムの頃には、来日学生同士も打ち解けて積極的な会話を交わす様子が伺え、和やかな雰囲気の中食事を楽しんでおられました。その後、来日学生皆様からもお一人ずつ今後の抱負やホストファミリー・ライオンズクラブへの感謝の言葉を述べられ、参加者全員での記念撮影の後、懇親会は閉会いたしました。

この事業は、ホストファミリーやホストクラブを中心とする関係者の皆様の協力無くしては成り立たない事業でございます。地区YCE・レオ

委員会は現在2019年度夏期事業の準備を進めており、今後とも皆様方の変わりぬご協力、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

地区YCE・レオ副委員長 日夏剛史







# 「YCE 派遣レポート」

派遣先：イタリア 京都京洛LC：山本 翔

2018 年度  
冬期 YCE 派遣レポート



私は、イタリアのミラノという都市に行かせて頂きました。期間は、12月16日〜1月7日まで行きました。何故行きたかったのかというと、私は以前から建築物に興味があり独特なデザインを見たかったからです。

ホームステイをさせて頂いた先は11歳の男の子と8歳の女の子とご夫婦合わせて4人で住まれていた家族でした。私は当初、違う家族と過ごす予定でしたがやむを得ない理由で変更になりましたがホームステイ中は2家族と過ごさせて頂きました。家族とは色々な場所に連れて行ってもらったのですが、特に印象に残っているのはミラノにあるテッオーモ大聖堂です。日本の建築物とは全く異なる景観で初めて見たときはその佇まいに圧倒されました。イタリアに行つて気付いたことは、イタリアの人たちは自己主張がはっきりしておりフレンドリーな方が多いということでした。そのため、とけ込みやすく、楽しく暮らしました。文化についてはイタリアは文芸復興ルネサンスに発祥の地として有名です。現在に至るまで幾度も革新を繰り返しながら、様々な分野での伝統が受け継がれていて今もお世界の文化をリードしています。具体的にいうと絵画や建築、哲学や文学だけでなく舞台やオペラなど幅広い



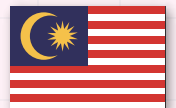
い範囲に及びます。特に「芸術の都」と呼ばれているフィレンツェでは15〜16世紀にルネサンスの文化が開花し現在でも「屋根の無い美術館」として観光産業を牽引しています。料理は主にパスタでクリスマスでは「ジザヤチース」などが出て豪華なお食事でした。驚いたのはデザートで出てきた背の高いパンケーキで名前は「パン・ド・ロ」といいます。そのパンケーキを横にスライスして切つていきクリームなどを塗つていきサンドし、すらしながら重ねていくところも華やかで食べるとすごく甘くとても美味しかったです。

私の今後の人生において役立つと思つた事は対人関係やイタリアに行つて考え方が変わったことです。私はイタリアに行く前はあまり人に干渉しないタイプでしたがもともと人に積極的になろうと思いましたが、考え方などもストレスや自分の思つている事は中に溜め込まないように全て出すようにし、毎日楽しく過ごそうと思いました。

約3週間という短い期間でしたが自分にとってすごくいい経験になりました。行かせて頂いたライオンズ関係者の皆さんには感謝しております。また機会があれば行かせてください。本当にありがとうございました。

# 「YCE 派遣レポート」

派遣先：マレーシア 園部LC：樋口にわか



私は12月20日から1月6日までの17日間、マレーシアのパハンという所へ冬期YCE生として派遣されました。私のホストファミリーが住んでいる街はパハンのラウフという街でした。ラウフはマレーシアの中枢、クアラルンプールから2時間半ほど離れた地方でした。私はそのホストファミリーの家に、私ともう1人の日本人と2人でホームステイをしました。マレーシアの平均気温は30度前後といわれていますが、ちょうど雨季だったので、1年の中では比較的過ごしやすい気候だったそうです。

マレーシアのクアラルンプールにある空港に着いて一番初めに感じたことはものすごく暑いということでした。日本はちよつと寒い時期なので違和感を感じました。ラウフに着いてもその暑さは変わりませんでした。

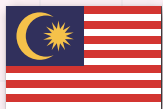
実際、現地ですごく暑いと、多くの文



化に出会いました。マレーシア人は、マレー系、中華系、インド系の3つに分かれています。マレーシアの人達はこの3言語プラス英語が話せる方が多いのです。私は驚きました。日本人は日本語しか話せない人がほとんどですが、マレーシアでは場所や相手により話す言葉を変えていました。私のホストファミリーや近所の方々は、中華系マレーシア人なので普段は中国語を話していました。

私はこの冬期派遣でマレーシアの方々の温かさに感動しました。私の英語は相手に伝わりにくかったと思います。ですが、言葉の壁を越えてマレーシアの学生や、ホストファミリーと親しくなれたと感じています。この経験は私にとって忘れられない貴重な経験となりました。これからこの経験を生かして世界で活躍出来るようになりたいと感じました。





# 「YCE派遣レポート」

派遣先: マレーシア 長浜LC: 近藤 裕麻



まず初めに、私を派遣生として選んでいただき、サポートしてくださったライオンスクラブ関係者全ての方に感謝致します。

私がマレーシアで過ごした19日間は毎日充実していて、本当に楽しかったです。今まで見たことの無いマレーシアの伝統料理を食べたり、農場に行つて、ハチミツをストローで直接吸つたり、ヤシの実を収穫して、「コナッツウォーター」を飲んだり、瞬間自分の目の前で起きていること全てが新鮮で、刺激的なものばかりでした。その中でも一番感動したのがヒンドゥー教の聖地バトウ洞窟です。272段のカラフルな階段を登った先にある洞窟は、壮大でも儼かな雰囲気が漂っていました。

語であり、中華系の人が多いため、3言語を扱える人達がたくさんいます。特に私のホストファミリーは基本中国語で会話をしていたため、家族間の日常会話を理解することができず、大変苦労しました。ですが、これも多くの人が日本語だけを話す日本では経験できないことであり、これから英語だけではなく他の言語も勉強しようという思いにさせていただきました。

また、今回マレーシア派遣のリーダーもやらせていただき、異国の地で全体を見て行動をする大変さも学ぶことができました。

最後に、様々な経験をさせてくださったホストファミリーに感謝の意を表したいと思います。

# 「マレーシアでの思い出」

派遣先: マレーシア 長浜LC: 榊原 舞優



今回のホームステイは私にとって初めての海外でした。

出発する直前は不安で仕方がなかったのですが、ホストファミリーに会った瞬間からなくなり、19日間という短すぎた日数はとても充実していて中身の濃いものでした。

お世話になったホストファミリーは、ただ私を有名な観光地へ連れて行ってくださるだけでなく、勉強になる事を沢山教えて下さいました。

その中でも、身寄りのない沢山の高齢者の住んでいる所に、食べ物や日用品などの様々な物を支援していたのには、驚きを通り越し、純粋に感動しました。

世の中には、様々な富裕層の方がおられますが、その方の支援の心が社会貢献に使われている事を知りました。

ホストファミリーの方は、地元の事を本当によく知っておられ、寺院にお参りに行ったときや、その土地で有名なコーヒーを頂いた時など、英語が苦手だと言うホストファザーが、熱心に説明してくださり、その土地について色々な事を知ることができました。

家に居た日は、三姉妹とのガールズトークで盛り上がりたり、ケーキを作ったりしました。

楽しい日々は、あっという間に過ぎてしまい、最終日の車の中で、「いつでも戻ってきていいからね」と言ってくれた時には、涙がでてきて家族の顔を見ることが出来ませんでした。

とても貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。





テオ・ウェイ・ハン Teoh Wei Han (マレーシア)

第1ホストクラブ: 八日市LC

第2ホストクラブ: 園部LC

2018年度  
冬期 YCE 来日レポート



僕の名前は、Teoh Wei Han といいます。

今15才でマレーシアのペナンという所から来ました。日本へは初めて来る事ができました。日本での経験は実に楽しく、多くの非常に親切な人々に出会うことができました。とりわけ最初のホストファミリーである Sakaguchi さん、Nakahara さん、Tatsui さんご家にはお世話になり、私をあちこちに連れて行っていただき、日本の生活や習慣がどのようなものか経験させていただきました。

中でもイチゴ農園での作業は僕にとってはすばらしい経験でした。僕は

滋賀県、京都府、大阪府に滞在しましたが、特に滋賀県では色々異なる日本の光景を見ることができて僕は滋賀県が好きになりました。

またスキー体験は非常に印象深く、僕はスキーだけでなく雪もはじめて体験できて素晴らしい経験でした。

最後に、僕はこのようなすばらしい体験の機会を与えていただいたライオンズクラブの皆様へ心からお礼を申し上げます。日本を訪ね、日本の文化に触れたことは大きな思い出となります。改めてホストファミリーの皆様にもこのようすばらしい機会を与えていただいたことに深くお礼を申し上げます。

チョン・ユェン・ハウ Choong Yuen Haow (Raphael) (マレーシア)

第1ホストクラブ: 草津LC

第2ホストクラブ: 近江守山LC



**2018 Japan YCE Program Report**

2018年12月7日私は、マレーシアからの他の学生と共に、ライオンズクラブ YCE プログラムを通じて来日しました。このプログラムは、2つの異なる国間のコミュニケーションを改善し、他の国の文化を学ぶことを目的としています。ライオンズクラブのおかげで日本において、自分の文化を学ぶ機会を頂くことができました。

まず、私は日本人に感銘を受けました。彼らははじめて会った人々にお辞儀をし、挨拶し、話すときに常に顔に美しい笑顔になります。彼らは私よりも年上ですが、私を友人のように扱い、いつも私を尊重してくれます。たとえ何が間違っていたとしても、彼らは「dajoban」と言い、私を叱るのではなく、私に微笑みます。だからこそ、人々はこれらを日本人から学ぶべきであり、これは世界をより良い場所にすることができます。

第三に、私は本当に日本の通り(道)が好きです。とてもきれいで美しく、植物や花で飾られています。マレーシアは、日本人のように、どこにも「ミ」を散らかさないことを学びたいです。駅は混雑していますが、列車に乗る前にみんなが行列をして、列車から降りたための道をいつも作っています。

最後に、日本に滞在中に私の世話をしてくれたホストファミリーにお礼を言います。日本では本当に良い経験ができました。私はこれらの文化、伝統、規律をマレーシアに持ち帰り、家族や友人に広めます。今後日本を訪ねたいと思います。





キンバリー・ジェーン・クロニン Kimberley Jane Cronin (オーストラリア)

第1ホストクラブ: 桜井LC

第2ホストクラブ: 綾部LC



エリカ・ロウ・イ・シュエン Erica Lo Yi Xuan (マレーシア)

第1ホストクラブ: MD337

第2ホストクラブ: 生駒LC



### 奈良旅行の思い出

この2週間で、私は2組のホストファミリーと過ごしました。私の最初のホストファミリーは池尾さんです。畳に暮らす機会があるとは思っていませんでした。このホームステイで最も忘れられないことは畳に住む経験したことです。まず最初に、私は池尾さんが疲れていても遊びに行ったり来たりしてくれたことに非常に感謝しています。特にUSJで彼はずっと付き合ってくれました。餅の作り方も経験しました。この機会に餅を作る機会を与えてくれた小池さんと彼の友人に感謝します。そして、引原さんが仕事でとても忙しくても私と一緒に過ごしてくれたことにも感謝します。インスタントラーメンと一緒に作るのとても楽しかったです。私も鉄東さんと彼の家族と素晴らしい一日を過ごしました。池尾さんの家に5日間滞在した後、3日間のスキーキャンプをしました。私はスキー

キャンプ中にたくさんの新しい友達に会いました。スキーキャンプの後、私は最後のホストファミリーの家、村田さんの家に移動しました。ここで新しい友達と出会いました。彼女の名前はあみです。一緒に買い物に行きました。私はまた別の2人のYEMENバーと一緒に京都旅行をしました。生け花、琴、茶道、折り紙を学びました。それは非常に楽しかったです。また、村田さんと一緒に天王寺動物園を訪れました。かわいい動物がたくさんいて、そのほとんどはマレーシアの動物園にはいません。大事なことを言い忘れましたが、私は和菓子を作ることを学びました。それは少し難しいけれどもとても楽しいです。私は非常に幸せだったと旅行の2ヶ月は一年の中で最も記憶に残る時期です。すべての思いやりとプレゼントに対して、池尾さんと村田さんにとっても感謝しています。皆さんと過ごしたすべての瞬間にとっても感謝しています。



# アイバンク通信



京都淀LC会長L奥村訓彦のご母様より献眼を戴き、厚生労働大臣・(公財)日本アイバンク協会・京都府立医大アイバンク・アイバンク愛の光基金管理会より感謝状が授与されました。(L奥村啓二のご令室様)

## 啓発活動報告 ※アイバンク献眼登録・啓発活動・募金活動を行いました。



りっとう市民秋まつり  
(栗東LC) 11月11日(日)



親子写真大会in河辺いきものの森  
(八日市LC) 11月25日(日)

## 第二回アイバンク愛の光基金管理会・滋賀地区啓発ゴルフコンペ開催 於：名神八日市カントリークラブ

11月26日(月) 多数のご参加をいただき、チャリティーにご協力ありがとうございました。



※多額の支援金を有難うございました。(2018.10.31~2019.1.31) (敬称略)

(クラブ)	
京都薫風	10,000
京都醍醐	20,000
京都洛陽	27,657
京都むらさき	10,000
京都鉾町	30,000
京都鳥羽	32,500
京都南	22,150
京都洛中	7,000
合 計	159,307

(啓発活動募金および献眼登録者数)	
びわ湖大橋病院	5,288
りっとう秋まつり(栗東LC)	8,778
滋賀地区啓発ゴルフコンペ	217,000
淀LCもちつき大会	7,354
親子写真大会(八日市LC)	30,350
合 計	268,770

(個人)			
南 英三	50,000	伊井田栄治	10,000
後藤 典生	50,000	岡田 米陽	5,000
合 計			115,000

## 11月12日(月) 京都・滋賀・奈良の4アイバンクとアイバンク愛の光基金管理会 意見交換会

4アイバンクの代表、担当者、公益信託アイバンク、ライオンズクラブ335-C地区ガバナー、アイバンク愛の光基金管理会理事長以下29名の参加のもと助成金目録贈呈・近況報告等意見交換会が開催されました。





# クラブ活動

## 京都日吉ヶ丘ライオンズクラブの献血勧誘活動

京都日吉ヶ丘ライオンズクラブ 広報情報委員長 増田重治



日時 2018年10月1日  
月曜日 11:30~12:15  
場所 献血ルーム伏見大手筋前の  
大手筋商店街

当日朝、被害が心配された台風24号も過ぎ去り台風一過の晴天となりました。日本赤十字社京都府赤十字血液センターの「献血にいこう」のかけ声にも賛同し、当クラブ会員の参加者全員で献血アピールができるユニホームに身を固めて活動致しました。会長「山本利廣の「アクティビティ」のさらなる充実を」の方針を確認し、クラブ活動の原点にたちかえり友愛の精神を携えての奉仕の精神で、通行人の皆様に献血勧誘の言葉をかけティッシュペーパーで活動しました。献血ルーム伏見大手筋の皆様協力も得ながら、昼過ぎには滞りなく勧誘活動を終えることが出来ました。

場所をかえて近くの店舗にて献血例会を行いました。会長より昨今多くの台風が到来し仕事も大変多忙な折多くの会員が参加し、活動して戴いたことは今年度の会長方針を十分に理解して戴いたもので、その行動に感謝しているとの挨拶がありました。活動後の清々しい気持ちの下、会員相互の親睦も図りました。



## 第5回京都南ライオンズ会長杯 争奪学童野球大会 決勝戦

京都南ライオンズクラブ 玉川元城

2018年12月2日於：嵐山東公園グラウンドにて第2回京都南ライオンズ会長杯 争奪学童野球大会 決勝戦（京都軟式野球連盟 西京支部 少年部主催）が晴天の中、盛大に開催されました。桂東体振ライオンズ対嵐山東本間パース・松尾ジュニアーズ合同チームが対戦致しました。



結果は両チームの好守により大接戦の末、1対0で桂東体振ライオンズが見事優勝致しました。京都南ライオンズ会長「山本尚順」と「牧和也」から優勝チームへ優勝旗並びに優勝カップ・金メダルの授与があり、準優勝チームへは幹事「山田浩二」と「若山義浩」から準優勝カップと銀メダルが授与されました。子供達が一生懸命、野球に取り組む姿勢に心から感動致しました。今後も永く大会を開催し、青少年育成活動に貢献出来る様、メンバー一同努めて参ります。





## 「かめおか霧のテラス」へ「展望パノラマパネル」寄贈

亀岡保津川ライオンズクラブ 環境保全委員長 藤村幸二



亀岡保津川ライオンズクラブが、亀岡盆地を包む丹波霧による雲海を一望できるスポット「かめおか霧のテラス」に「展望パノラマパネル」を製作・設置し亀岡市に寄贈しました。2018年11月21日(水)に当クラブメンバーでもあります桂川亀岡市長出席のもとにこの除幕式をおこないました。

このパネルは、小型無人機ドローンを使ってテラス上空50mから写真を撮影し、縦0.5m、横3mに仕上げ、亀山城跡や穴太寺、市役所といった観光地や主要な建物の位置を示し、雲海の上から頭を出す牛松山や霊仙ヶ岳といった山の名前も紹介しました。丹波霧が織り成す幻想的な風景はもとより、自然豊かな亀岡のビューポイントをわかりやすく説明したものです。またテラスまでの道路に案内看板4点も設置しました。



秋から春にかけて真っ白な雲海が楽しめますので、ぜひ皆様も一度、この季節に京都縦貫道亀岡インターチェンジを降りて車で10分のところにあります「かめおか霧のテラス」へお越しください。雲海の発生状況は「霧のテラス ライブ」で検索して亀岡市観光協会ホームページのライブカメラより確認できます。

ライオンズクラブとして今後ともこのような活動を通して、自然の素晴らしさを訴求し、地球温暖化を防止する活動にもつなげていきたいものです。

## 3R1Z親善チャリティゴルフ大会

京都洛北ライオンズクラブ 廣瀬宗泰

平成30年11月6日(火)田辺カントリー倶楽部にて3R1Z親善チャリティゴルフ大会を開催。

スタート時は曇り空の雨が降りそうなお天気から次第に快晴となり、皆様の日頃の行いがお天気に現れた大会となりました。

京都平安LC・京都橋LC・京都北LC・京都洛北LC・京都洛央LCの5クラブ総勢39名のプレイヤーの参加となり、懇親会も含めますと総勢51名の参加となりました。

毎年開催しているこの大会は、メンバー同士の親睦を深める事ほもとより、チャリティ資金獲得を目的とし、5クラブの合同アクティビティ支援事業の資金としてあてられております。

懇親会場ではベナルティボックスを設置、シヨートホールでワンオンできなかつた方にチャリティを頂きました。各賞の発表があり、大いに盛り上がり、美味しい食事を楽しみながら、ドネーションも集まり、楽しく懇親を深めることができました。



多くの方々にご参加下さり、大会の主旨をご理解いただき、たくさんチャリティ資金が獲得できましたことに感謝申し上げますとともに、この親善チャリティゴルフが合同アクティビティ支援事業の一環として役立つものと心から願っております。



## 「哲学の道」美化活動

京都紫明ライオンズクラブ 献血・視力・聴覚・福祉委員長 山崎洋輔



京都紫明LCの継続アクティビティのひとつ「哲学の道美化活動」を、12月1日（土）早朝より、地域住民の方々で組織されている「哲学の道保勝会」の皆さんと共に実施いたしました。

当日は天候にも恵まれ、紅葉も終わり道一面に落ちた葉を竹ボウキやゴミサミを持って約1時間、美化活動を行いました。

「哲学の道」は29年前に当時の建設省が「日本の道百選」を選定した時に選ばれた、歴史的な伝統と文化が今も息づいている所であります。

2015年6月にゾーン合同アクティビティとして奇贈した案内板が、京都を訪れた観光客の人達にも喜ばれています。



今後、このアクティビティの継続はもちろんのこと、ひとりでも多くの参加者を増やしていきたいと思っております。

ホームクラブの例会だけではなく、このような野外における美化活動、奉仕活動に今後も全力で取り組んでいける京都紫明ライオンズクラブでありたいと思います。

## 結成55周年記念事業 糖尿病予防啓発ラジオ番組放送

綾部ライオンズクラブ 結成55周年実行委員長 四方素生



綾部ライオンズクラブ（会長し中村孝行）は結成55周年記念事業の一環として地域コミュニティ放送局であるFMあやべにて糖尿病予防啓発番組「知って防ごう、糖尿病！」を放送しました。

番組では、地域に根差した医療活動を行う綾部コミュニティナースに中村会長が質問形式でインタビューし、綾部における糖尿病の現状や治療法、

予防法を1時間にわたり聞き、糖尿病についての知識を深め、糖尿病予防の啓発を行いました。4回シリーズで2019年1月7日から10日に放送し、再放送を1月14日から17日に行い、同時にライオンズの奉仕活動のラジオCMも制作し、広く広報に努めました。

また、より糖尿病を理解して頂くために一般社団法人日本ライオンズ発行の冊子「まるごとわかる糖尿病」と、1月30日に糖尿病予防のキャンペーンで開催される「フルーサークルGAME」の観戦チケットをリスナープレゼントとしたところ、多数の応募を頂きました。

糖尿病にならないために食事や運動など普段の生活において注意すべきことや、もし糖尿病になっても薬や注射だけに頼らず生活習慣を見直すことで身体への負担を少なくするなど、ためになる話をコミュニティナースさんからたくさん聞かせて頂きました。この放送が市民の皆様の健康の一助になればと思います。

写真・LC事務局隣の会議室の収録風景  
左2名コミュニティナース、  
右奥FMパーソナリティー、  
右手前中村会長



## 結成15周年、姉妹クラブ提携を記念して、スリランカに車椅子30台を寄贈

京都むらさきライオンズクラブ 結成15周年記念事業実行委員会 事務局長 村田悦子



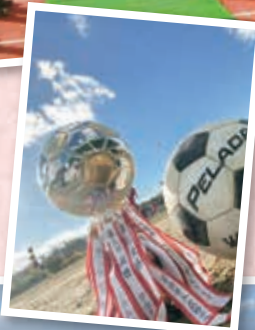
京都むらさきライオンズクラブは、2年前からスリランカの子供達に文房具やスポーツ用具の寄贈をしてきました。2018年2月に現地を訪問した阿蘇は、かなり古い車椅子を使用されている方を見て、帰国後さっそく中古の車椅子の寄付を募りました。京都福祉介護用品協会様や、京都社会事業財団様等のご協力を得て、30台の車椅子が集まりました。また訪問中に縁ができたアルスガマ・ベントータL.Cから姉妹クラブの申し出がありました。

2019年1月16日、スリランカのアルスガマ・ベントータL.Cで、両クラブの会長が姉妹クラブ協定書に署名をいたしました。現地では車椅子希望者が70名ありましたが、優先順位を決め、30名の方に阿蘇会長から直接車椅子が手渡されました。日本製の車椅子は大変貴重なものだったので、皆さんにとっても喜んでいただきました。この事業は姉妹クラブがあったからこそ実現したものであり、両クラブの連携の更なる可能性を感じました。



## 第21回KJ杯争奪中学生サッカー大会

京都市城南ライオンズクラブ MC・IT委員長 松下正成



去る2019年1月26日(土)・27日(日)に山城運動公園太陽が丘第2競技場及び球技場A・陸上競技場において「第21回KJ杯争奪中学生サッカー大会」に参加選手・来賓・京都市城南L.Cメンバー総勢約450名で開催致しました。

今では新春を飾る大会として、すっかり地域に定着した本大会も今年はその21回目の大会として開催されました。今年には雪の降る非常に寒い中、参加16チームが雪をも溶かすような熱戦が繰り広げられました。初日の開会式には一般来賓をはじめライオンズクラブ関係者18名の多数の来賓のご臨席のもと、宇治市議会議員 坂下弘親様、ライオンズクラブ国際協会335-C地区4R3ZゾーンチエアパーソンL松山迪からも励ましのご祝辞を頂戴し、加茂フットボールクラブU-15友久心陽選手の力強い選手宣誓で開会致しました。



声を掛け合い一心にボールを追う選手達の輝いた目、日頃の練習の成果を發揮すべく必死に駆け巡る選手たちの姿から、メンバー一同感動と力を頂き、そして仲間の大切さをあらためて再確認致しました。地域の青少年健全育成の環として取り組んだ本大会も実りある大会で、いつの日かこの選手の中からJリーグのメンバーとして活躍する選手が出てくる事を期待して改めて、We serveの意義を実感致しました。この大会にご協力頂きました宇治サッカー協会、宇治市中学校体育連盟他関係各位に心から厚く御礼申し上げます。

尚、成績結果は次の通りです

- ・優勝：京都市立太秦中学校
- ・準優勝：八幡市立男山第三中学校
- ・第3位：長岡京市立長岡第三中学校
- ・第3位：京田辺市立大住中学校



## 清掃奉仕例会

大和郡山ライオンズクラブ 環境保全委員長 藤本保文



久々の、抜けるような秋晴れの下、8時30分が過ぎると、色とりどりのユニフォームを身に着けた少年野球チーム、ちびっ子武道の子供たち等統率の取れた大勢の人たちが続々と集まってきました。9時に開会式が始まりました。森田会長が開会の挨拶に続いて谷垣大和郡山市教育長、アイバンク愛の光基金理事長、森井のご挨拶を戴きました。親子まつり実行委員会としてアイバンク愛の光基金に後援金を贈呈いたしました。

清掃作業は、数の力はずいもので、見る見るうちに「ゴミや枯れ葉等」がビニール袋に詰められました。約2時間の作業の後はカレーライス600食分が完食。何年も続けられてきた行事ですが、地域おこしの行事のため汗を流すことは、これからも未永く続けていきたいものです。

## クリスマス家族例会

奈良西ライオンズクラブ 計画委員長 西村誠一



街路樹がイルミネーションで美しく光り輝く中、12月19日にクリスマス家族例会を『ザ・ヒルトップテラス奈良』にて開催いたしました。

テールツイスター扮するサンタクロースの登場から始まり、ライブステージではヨーロッパアンミュージックバンドの『ドミナペレグリナリ』の演奏やダンスで盛り上がりました。続いてのチャリティオークションではメンバーからの協賛品が次々と落札されました(収益金の寄贈先は決定次第ご報告させていただきます)。

メンバー皆様のおかげをもちまして平成最後のクリスマス家族例会を無事楽しく終えることができました。ありがとうございました。

## クラブアクティビティ2018 大橋悠依選手講演会

草津ライオンズクラブ 森野朋宏



10月21日(日)クサツエストピアホテルに於いて、滋賀県出身、草津東高校卒業、パンパシフィック選手権 競泳 400M・200M個人メドレー金メダリスト、大橋悠依選手をお招きし、講演会を開催いたしました。

『青少年育成事業』ということで高校生以下は入場料を無料とし、草津市内はもとより県内から多くの青少年の方々にご参加いただくことが出来ました。500名程の参加者の前で大橋選手の子どもの頃の話、今後の目標をお話いただき、講演の最後には子どもたちからの質問を受け付けました。水泳の上達の方法の質問が数多く寄せられ、大橋選手の答えは子どもたち今後の目標になったことだと思えます。

2020年開催される東京オリンピックでの金メダル獲得をメンバー一同願います。



## 第36回アイヘルス・糖尿病予防キャンペーン 開催

京都洛中ライオンズクラブ 平野高士

当クラブが長年にわたり取り組んでおりますアイヘルス・糖尿病予防キャンペーンも今年度で36回を数え、10月26・27日にゼスト御池に於いて盛大に開催されました。午前10時、京都市保健福祉局医務担当局長様をはじめ京都府糖尿病協会、京都府眼科医会、(公財)京都新聞社会福祉事業団、ライオンズクラブより地区ガバナー・南英三、地区役員多数のご出席を頂き開会式が行われ、それぞれにご挨拶を頂いたあと、テーブルカットが行われて会場がオープンされました。会場内には専門医による健康相談をはじめ看護師による血糖検査、管理栄養士による栄養相談、壁面には糖尿病の症状と原因、治療と予防のパネルが掛けられました。会場外では各メンバーが手分けして「アイヘルス・糖尿病予防キャンペーン」の品を通行中の人に配布PRして夕方までの間に約200人余りの人たちが来場されて大変な盛況でありました。このキャンペーンによってアイヘルス・糖尿病予防をPRすることが出来、糖尿病の患者さんが減っていくことをメンバー一同から願っております。



## ミンナソラノシタという新たな支援

京都鉾町ライオンズクラブ MC・IT委員 岩澤有徑

福島の震災や原発の事故から時間が過ぎ、京都の私たちには、その後の別の災害の話題で記憶から遠ざかって行く中、「ミンナソラノシタ」というイベントに参加してまいりました。改めて福島のお母様方から生の声を聞く機会に遭遇し、笑顔で飛び回る子供達と共に奉仕のライオンズクラブのあり方が綺麗に連携する気がしました。今も除染作業のために地面の土を入れ替える工事の光景は、幼稚園にとつて到底安らげるものではありません。幼稚園留学とは、福島の子供達を京都に招待し3週間幼稚園で学ぶのですが、子供達は、今まで屋外で遊ぶことができなかったという話は、驚きです。とは言え現在は、まだ選ばれた部の子供達に対する活動の始まりで、十分な支援には程遠い現実があります。京都鉾町ライオンズクラブは、出来る限りの協力を約束し笑顔を確認して帰路につきました。私には、ミンナソラノシタという活動の名称をようやく理解できました。



## 皇后盃第37回全国女子駅伝大会参加記念品寄贈

京都北ライオンズクラブ 会長 中川朋子

当クラブは1993年より皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝競走大会の参加記念品を寄贈しています。1月の第37回大会の記念品は結成55周年記念事業として社会福祉法人白百合会、NPO法人せいらん福祉会と共にトートバッグを制作致しました。当クラブは知的障がい者支援をメインアクティビティとし、ともに「ふれあう」ことで障がい者の方々との心の垣根をなくそうと活動しています。その「ふれあい」活動を共にする白百合会の皆さんが一針一針丁寧な京都府・市の花である桜の手刺繍を施し、せいらん福祉会の皆さんが縫製を行い、当クラブメンバーが包装し、9ヶ月をかけて1100枚が完成、大会事務局に寄贈しました。この記念品は全国から集まる駅伝選手並びに関係者の方々から贈られます。制作に当たった皆さんは自分達の作った物が全国に持ち帰られるという誇りに思い、心を込めて製作に励んでこられました。我々も全国に「ふれあいの心」をお届け出来ることを大変嬉しく思います。





## 8R2Z合同献血キャンペーン

大和郡山LC 鈴木利孝

平成最後の新年恒例のCPが、1月19日曆の大寒に、奈良献血センターにて実施されました。今年度は奈良西LCが担当し、プレゼント用の食パン1本(3斤)毎にシールを貼りました。20名の参加メンバーで手際よく作業が終わり、寒空の中ティッシュ配りの献血勧誘へと向かいました。

奈良はインバウンドの外人さんが多く、東南アジアの方は見分けられず空振りが続きます。

今日明日は、センター試験。学生さん達には、無

事桜を咲かせて若い血を献血センターへ運んでほしいものです。



## 岩倉一周ハイキングコース 山岳ルートへの遭難救助用標識看板設置事業

京都洛北ライオンズクラブ 須野原修二

2016年CN45周年から始めた継続アクティビティである「京都洛北の山並みハイキングコースへの遭難救助用標識看板設置事業」の継続アクティビティ。左京区大原からスタートし、静原、鞍馬、岩倉北、八瀬、広河原へと続き、今回は洛北岩倉西側の山岳コースへ看板を設置しました。今回の設置で、岩倉地域の山岳ハイキングコース一周の標識が完成しました。途中、2017年には3R1Z合同アクティビティとして、右京区愛宕山へ10本の地図入り看板を設置しましたが、今回の設置を含めると合計で285本の遭難救助用標識看板を寄贈したことになります。

地域の消防関係者、警察関係者、地方自治関係者からも大変喜んでいただき、関係機関から表彰を受けるアクティビティへと成長しました。地域社会に溶け込んだ、今のクラブ規模に合った、云わば「身の丈に合ったアクティビティ」であると感じています。



## ライオンズクエスト パネルディスカッション例会

栗東ライオンズクラブ 会長 奥村市衛門

12月第1例会「ライオンズクエスト パネルディスカッション例会」を開催致しました。

今回の例会では、過去に受講していただいた参加者5名(栗東市教育委員会学校教育課より1名、栗東市内小学校教諭3名、栗東市内学童保育所より指導員1名)をお呼びして、①ワークショップ受講後、教育の場に応用されているか ②それによって、子ども達がどう変化したと感じられているか、についてお話を伺いました。

どの先生方も、今まで子ども達にどう学ばせようか、そればかり考えてきたが、ライオンズクエストを受講して、子ども達が自分で気づくにはどう関わればよいかという視点が変わっていった事が一番大きい気づきだったと話されました。

また、学童保育所の場でも、充分活用できる教材であると共に、子どもへの対応及び声かけに変化があったそうです。

今回現場の声を生で聞いた事は、大変有意義な時間であり、今後も続けていこうと思います。





# おめでとうございます! 新会員の紹介

京都西LC



┌ 繁本 護

1972年12月26日

- 衆議院
- 衆議院議員
- 国会議員

京都京洛LC



┌ 森 秀樹

1987年8月12日

- (株)祇園 仁々木
- 代表取締役
- 菓子製造・販売

京都洛南LC



┌ 西村 紀男

1951年11月19日

- (株)信天堂
- 代表取締役
- 印刷業

京都南LC



┌ 山本 武範

1989年8月9日

- (株)Life youth
- 取締役
- 保育

京都LC



┌ 濱岸 嘉彦

1957年4月7日

- 株式会社京都銀行
- 監査役
- 銀行業

京都チエリーLC



┌ 二橋 悦子

1960年2月26日

- (株)タカノデンキ

京都チエリーLC



┌ 下永 さちこ

1946年3月3日

- 
- 
- 

京都チエリーLC



┌ 上田 貴美子

1941年9月30日

- 明治安田生命
- 
- 

京都錦LC



┌ 青川 剛気

1980年9月19日

- (株)さーてらす
- 代表取締役
- 建築設計

京都錦LC



┌ 加藤 昌洋

1987年8月2日

- かとう昌洋事務所
- 
- 市会議員

宇治LC



┌ 藤山 裕紀子

1977年11月7日

- 藤山ゆきこ事務所
- 
- 京都府議会議員

宇治LC



┌ 鈴木 崇義

1980年6月21日

- 公益財団法人 青少年野外活動総合センター
- 理事
- 青少年野外教育、公園運営

綴喜LC



┌ 城本 智和

1961年8月7日

- 有限会社ナチュラル シロモト
- 代表取締役
- 洋菓子製造販売

京都桃山LC



┌ 桧山 政宏

1970年3月28日

- 桧山司法書士事務所
- 代表
- 司法書士

京都紫明LC



┌ 嶋村 聖子

1977年3月18日

- しまむら聖子事務所
- 
- フリーアナウンサー

大津LC



┌ 朴 大俊

1975年6月3日

- アーク法律事務所
- 代表
- 弁護士

大津LC



┌ 小島 亨

1946年4月9日

- (株)創星
- 代表取締役
- 不動産貸借業

宮津LC



┌ 中島 武文

1984年7月18日

- 
- 
- 京都府議会議員

京都淀LC



┌ 大高 俊生

1976年7月22日

- 税理士法人 大高事務所
- 社員税理士
- 税理士

京都淀LC



┌ 植田 英嗣

1940年12月29日

- 植田医院
- 院長
- 医師

草津LC



┌ 吉田 征史

1978年2月7日

- (株)吉田商業
- 専務取締役
- 自動車販売・整備業

志賀堅田LC



┌ 中居 繁

1977年11月16日

- (株)大衆割烹しん
- 店主
- 自営(飲食)

大津びわこ比叡LC



┌ 美濃邊 清和

1955年10月20日

- ミノバ建設
- 代表取締役
- 総合建設業

大津びわこ比叡LC



┌ 馬場 敏治

1946年2月3日

- ビジネスホテル西大津
- 代表
- 旅館

高島LC



┌ 朝尾 真紀子

1973年12月27日

- ノエビアびわ湖販売株式会社
- 代表取締役
- 化粧品小売業



# おめでとうございます! 新会員の紹介

生駒LC



┌ 米田 貴義

1971年5月23日

- 大阪中央合同事務所
- 代表
- 司法書士

愛知LC



┌ 若林 暢

1963年12月19日

- 滋賀中央信用金庫愛知川支店
- 支店長
- 金融業

八日市LC



┌ 坂口 暁子

1968年10月19日

- ㈱ワオナス
- 代表取締役
- 旅行業

近江守山LC



┌ 葛畑 真一

1969年6月18日

- 株式会社 クスハタ装飾
- 代表取締役
- 内装仕上げ業

## ご冥福をお祈り申し上げます

故┌山下 善治



京都南LC

没2018年11月18日  
享年86才

ライオン歴

2000年度 会長・地区年次大会副委員長  
2010年度 1R1Zゾーン・チェアパーソン

故┌内記 保雄



京都北LC

没2018年11月14日  
享年92才

ライオン歴

1978年 会計  
1994年 会長  
2001年 3R1Z ZC

故┌森嶋 治雄



竜王LC

没2018年11月10日  
享年72才

ライオン歴

1992年 クラブ幹事  
1998年 クラブ会長  
2011年 7R1Zゾーン・チェアパーソン

故┌和田 四志夫



竜王LC

没2018年9月23日  
享年80才

ライオン歴

1978年 クラブチャーターメンバー  
1984年 クラブ幹事  
1989年 クラブ会長  
1999年 7R1Zゾーン・チェアパーソン  
2002年 地区YE委員  
2004年 地区YE委員・顧問  
2006年 地区YE副委員長  
2007年 地区YE顧問  
2009年 地区YCE副委員長  
2015年 クラブ会長

故┌大岩 英雄



京都鴨川LC

没2019年1月7日  
享年77才

ライオン歴

1996年 会長  
2004年 地区青少年指導・ライオンズクエスト委員長  
2005年 地区青少年指導・ライオンズクエスト委員長

故┌谷垣 郁男



京都京洛LC

没2018年12月23日  
享年59才

ライオン歴

2014～2015年度 会長

故┌広瀬 来三



京都紫明LC

没2018年11月29日  
享年93才

ライオン歴

1965年1月 入会  
1984～1985 地区キャビネット会計  
1986～1987 会長  
1991～1992 3R リジョンチェアマン  
1995～1996 副地区ガバナー  
1996～1997 地区ガバナー  
複合地区ガバナー協議会議長  
1999～2000 複合地区視カファースト・献眼推進委員長  
2003～2004 複合地区国際協議委員長  
2005～2006 複合地区視カファースト・献眼推進委員長  
2006～2007 複合地区レオ・ライオネス委員長



想いを届けるチカラに



イベントプロデュース

株式会社タック

www.tacltd.net

【神戸営業所】

〒650-0001 神戸市中央区加納町 2-8-16 1F

TEL:078-261-0512 FAX:078-261-0513

【本社】

〒639-1123 奈良県大和郡山市筒井町 881-1

TEL:0743-59-6006 FAX:0743-59-6007

【東京営業所】

〒158-0097 東京都世田谷区用賀 4-13-2-407

TEL:03-6411-7447 FAX:03-6411-7448



L 藤井 卓 (大和郡山LC)

豊かな運び手として社会に貢献します



ここをこめて選ぶこと・・・  
それはただ物を選ぶのではなく、お客様のこだわりの商品を使われる  
人々への感動へと、お届けする役割と使命を持つこと・・・  
運ぶだけのしごとではなく、一人ひとりの経験を駆使した技術と  
知恵を持って、ほこりと情熱でお届けしたい・・・  
共に人として育ち合い、お客様のパートナーとして歩める企業を目指します。

川端運輸株式会社

<http://www.kawabataunyu.com>

Mail to : [info@kawabataunyu.com](mailto:info@kawabataunyu.com)

〒639-1031 奈良県大和郡山市今国府町690番地 TEL 0743-59-6636 FAX 0743-59-0005



L 川端 章代 (大和郡山LC)

フェリスーまると

Feliz-團斗malto

全国各地から厳選入手した味噌に季節食材を  
合わせた日本料理と美味しいお酒が楽しめる。  
大正時代に建てられた京町屋を改築した情緒あ  
る佇まいで、日常の喧騒を忘れてゆったりと寛  
げるお店。個室完備で接待にも最適。



☎ 075-354-1001

京都府京都市下京区高倉通仏光寺上る西前町 377-1

営業時間 17:00~23:00 (L.O.22:30)

定休日 月曜日

<https://feliz-malto.com/>

L 町田 浩一 (京都南LC)



廃棄物のことなら、株式会社木下商店へ



一般廃棄物処理業 株式会社木下商店  
 産業廃棄物処理業

〒606-0034 京都市左京区岩倉村松町64-11 TEL.075-701-7074・FAX.075-711-8875

L木下 堯大 (京都醍醐LC)

「アジアフォーラム」「世界大会」「プライベート旅行」に最適!



「ねっとde保険@とらべる」

短期間の旅行におすすめ! インターネット専用海外旅行保険

約**48%**  
割引

旅行期間92日以内の方限定の簡単にお申し込みいただけるインターネット専用の海外旅行保険です。

**ポイント①** 低廉な保険料

一般の書面でお申し込みいただくよりも保険料が割安  
 (三井住友社の書面申し込みの海外旅行保険と比べ約48%割安)

**ポイント②** 申し込みが簡単

24時間いつでもネットで簡単にお申し込みができます  
 自宅出発までお申し込みOK! (保険料はクレジットカード払いです)

お申し込み方法①

検索

保険プラスONE

<http://at-one.jp/>

下記のバナーをクリック!

三井住友海上の海外旅行保険

見積り・お申込みはこちら >>

お申し込み方法②

QRコードを読み込むだけ!



保険+ONE

Risk Management & Life Service

始期日時時点で70歳以上の方や病気の方はお申し込みいただけません。

詳しい補償内容や保険料は「ねっとde保険@とらべる」のホームページをご覧ください。

【取扱代理店】保険プラスONE(株式会社ONE)

〒600-8311 京都市下京区五条通若宮下る毘沙門町 44 番 3  
 TEL 0120-15-7272(フリーダイヤル)/075-341-6911 e-mail info@at-one.jp

【引受保険会社】三井住友海上火災保険株式会社

インターネット専用 0120-988-181(フリーダイヤル)



株式会社ONEは、京都サンガF.C.の  
 2018 オフィシャルスポンサーです

L一宮 寿行 (京都東LC)



# ○ 糖尿病予防キャンペーン ○

平成31年1月30日、“糖尿病で苦しむ人をなくそう!”という南英三ガバナーの強い想いを込めた「ライオンズクラブ国際協会335-C地区presents ブルーサークルGAME」が地区GST委員会と滋賀レイクスターズの企画により、ウカルちゃんアリーナ（滋賀県立体育館）で開催されました。

「ブルーサークル」とは世界糖尿病デーのシンボルマークで、ブルーは「国連、どこまでも続く空」、サークルは「団結」を表しています。

来場者全員にこの「ブルーサークル」と滋賀レイクスターズのマスコット「マグニー」をデザインしたバッジがプレゼントされました。

また、会場の特設ブースでは滋賀県糖尿病協会の協力で、血糖値の測定や医師や栄養士による健康相談が行われ多くの人が集まり、とんりには日本IDDMネットワークによる1型糖尿病の根絶(=根治+治療+予防)を目指す研究のための募金活動も行われ、多くの方の善意が寄せられました。

試合開始前の選手紹介には電飾のブルーサークルを持った子ども達と選手が入場、その後ガバナーのエスコートで招待された「つぼみの会」の北村凌成くんによるチップオフセレモニーのフリースローでゲームが始まりました。2000人を超える観衆の大きな声援で試合は一進一退の好ゲームで前半は32対33で福岡ライジングゼファーがリード。

ハーフタイムでは南英三ガバナーによるマイクパフォーマンスがおこなれ、ライオンズクラブのPRや糖尿病予防啓発の取り組みについて熱く話されました。

そして寄付金の贈呈式が執り行われ、日本IDDMネットワークの専務理事 大村詠一様より「寄付金は1型糖尿病で苦しむ子ども達が、いつか注射を打たなくても生きられる未来をプレゼントするための研究に使わせていただきます」と謝辞が述べられました。

試合後半はレイクスターズの素晴らしいプレーの連続で、会場は大歓声で大盛り上がり。

結果は83対72で滋賀レイクスターズが見事勝利し、私たち335-C地区にとっても新年から最先のいいスタートとなりました。

地区キャビネット運営委員長 白井幸則



## The Lions Times

ザ・ライオンタイムズ (335-C 地区機関紙)

発行日 2019年3月1日  
発行者 地区ガバナー 南 英三  
発行 ライオンズクラブ国際協会335-C地区 MC・IT委員会  
編集者 地区MC・IT委員長 町田浩一(京都南LC)  
事務局 〒600-8237 京都市下京区堀川通塩小路下ル松明町1  
リーガロイヤルホテル京都内  
TEL.075-344-0258 FAX.075-344-0277  
URL <http://www.335-c.com/>  
E-mail [lionss@skyblue.ocn.ne.jp](mailto:lionss@skyblue.ocn.ne.jp)  
製作 株式会社オフィスワイズ

## 【編集後記】

地区MC・IT副委員長 木下 堯大

今年度も、第31回目となる国際平和ポスターコンテストが開催され、京都、滋賀、奈良各会場で展示会も無事開催されました。

私自身も、子供達の真剣ながらも自由あふれる発想で描かれた作品を鑑賞して、世界平和について考える契機となりました。

少しずつ、春が近づいてきていますが、4月20日には第65回年次大会が開催されます。年次大会で皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

【地区MC・IT副委員長】一宮 寿行(京都東LC)、木下 堯大(京都醍醐LC)  
奥野 泰孝(舞鶴みなとLC)、井口 和智(愛知LC)、鈴木 利孝(大和郡山LC)  
【担当地区運営委員】東 英一郎(草津LC)